

PARARIA体験記 pdf

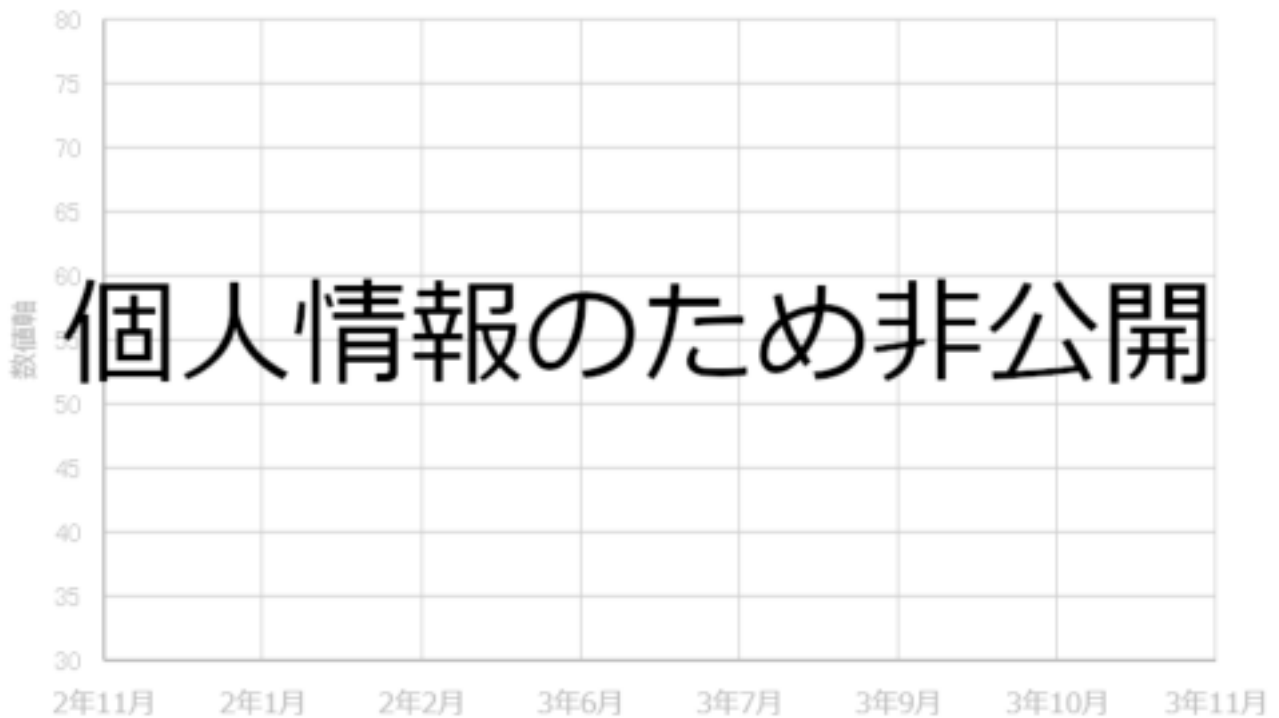


春日部東高等学校 R.Tさん

目次	
1. 基本情報	1-1 高校 (p3) 1-2 性別 (p3) 1-3 文理選択 (p3) 1-4 希望進路 (p3) 1-5 進学先 (p3) 1-6 模試の成績推移 (p3)
2. PARARIA 入会前の学習状況	2-1 生活習慣 (p4) 2-2 勉強時間 (p4) 2-3 モチベーション (p4) 2-4 家での過ごし方 (p4) 2-5 友達との付き合い (p4) 2-6 1日のスケジュール (p4~5)
3. PARARIA 入会後の学習状況	3-1 生活習慣 (p6) 3-2 勉強時間 (p6) 3-3 モチベーション (p6) 3-4 家での過ごし方 (p6) 3-5 1日のスケジュール (p6~7)
4. 各科目の各勉強法の推移	4-1 英語 (p8~9) 4-2 数学 (p10~11) 4-3 化学 (p12~13)
5. 志望校に関する意識の推移	5-1 志望校推移 (p14)
6. 家族とのやり取り	6-1 接し方 (p15) 6-2 もらったサポート (p15) 6-3 もらいたかったサポート (p15)

1. 基本情報	
1-1 高校	春日部東高校
1-2 性別	男
1-3 文理選択	理系
1-4 希望進路	千葉大学理学部数学情報数理学科
1-5 最終進路	東京理科大学工学部数学科
1-6 模試の成績推移	以下にグラフを示す。

成績の推移



2. PARARIA 入会前の学習状況	
2-1 生活習慣	部活を途中でやめたので、ゲームをしたり友達と遊んでいる時間がほとんどだった。予習復習や課題に関しては、進級できるようにこなしていたが、推薦を狙っていたわけでもないので、定期テストはほとんど勉強しなかった。
2-2 勉強時間	平日：0時間 休日：0時間
2-3 モチベーション	勉強は嫌いではなかったが、2年生の10月くらいまでは大学受験をあまり意識していなかったので積極的に勉強することは少なかった。10月頃からは徐々に受験のために勉強を始めたが、自分1人で勉強していたので正しい学習の進め方に悩んでいた。
2-4 家での過ごし方	家族との会話の他、テレビを見たり、ゲームをしたりしていた。
2-5 友達との付き合い	毎週のように一緒にカラオケに行っていた。サッカーやバスケットをしたりもした。休日は大体出かけていた。テスト期間には得意教科を教えあったりした。
2-6 1日のスケジュール 平日	朝は7時に起床し、学校に通っていた。下校は16時くらいで、2年生では部活に入っていなかったため友達とカラオケなどに寄ることが多かった。家に帰ってからは夕食を食べ、ゲームをしたり、予習をしたりし、1時頃に就寝した。
休日	12時ごろに起床し、友達と遊んだり、その日の予定に合わせて出かけていた。テスト前には少し早めに起床し、友達と近くのファミレスで勉強会をした。
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール		
時間	平日	休日
0:00		
1:00	就寝	
2:00		
3:00		就寝
4:00		
5:00		
6:00		
7:00	起床	
8:00	朝食、登校	
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		起床
13:00	昼食	昼食
14:00		遊びに出かける
15:00		
16:00	下校	
17:00	友達と寄り道	
18:00		
19:00		
20:00	帰宅、夕食	
21:00	ゲーム	
22:00		帰宅、夕食
23:00	風呂	風呂

3. PARARIA 入会後の学習状況	
3-1 生活習慣	<p>平日は大体 1 時就寝、7 時起床。朝食は 1 口 2 口で済ますことが多かった。7 時半に家を出て、帰宅するのは 23 時頃だった。帰宅後は夕食を食べてから風呂に入り、少し携帯をいじって 1 時くらいに就寝した。</p> <p>休日は大体 1 時就寝、9 時～10 時に起床。休日は割り切ったたくさん寝ていた。11 時くらいに家を出てパラリアで 10 時間くらい勉強した。帰宅後は平日と同じ。</p>
3-2 勉強時間	平日→4～5 時間 休日→8～10 時間
3-3 モチベーション	元々勉強するのは嫌いではなかったが、毎日やると飽きてしまった。音楽を聴くなど何とか工夫してモチベーションを保った。たまに友達と映画に行ったりして、リフレッシュした。また、他校の友達と勉強の進捗状況について話したりした。
3-4 家での過ごし方	ほとんど勉強しなかった。そんなに時間があつたわけではなかったが、趣味に時間を費やした。家族と志望校について話したりした。
3-5 友達との付き合い	ほとんどの友達とは文理が違ったので受験に関する話はあまりしなかったが、休み時間などは勉強よりも友達と談笑することが多かった。また、息抜きにカラオケや映画に行くこともあった。
3-6 1 日のスケジュール 平日	7 時ごろに起床し、ご飯を食べて学校へいった。16 時くらいに下校後にはそのままパラリアへ向かい、22 時まで勉強した。
休日	起床時間はパラリアに入る前と変わらなかった。起床後はパラリアに行って勉強した。パラリアであまり寝たくなかったため起床が遅め。結果 1 日のスケジュールが後ろ倒しになっている様な感じがする。
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール		
時間	平日	休日
0:00		
1:00	就寝	就寝
2:00		
3:00		
4:00		
5:00		
6:00		
7:00	起床、朝食	
8:00	登校	
9:00		
10:00		
11:00		起床、朝食
12:00		パラリア到着
13:00	昼食	
14:00		
15:00		
16:00		
17:00	下校、パラリア到着	
18:00		
19:00		
20:00		
21:00		
22:00	パラリア出る	パラリア出る
23:00	帰宅、夕食	帰宅、夕食

4. 各科目の勉強法の推移

4-1 英語	
単語	2月の時点で単語を覚えたことがない状況だったので、速読英単語の入門編から始めた。僕は単純な暗記作業をこなすのが苦手だったので、長文を読むことで気分を変えながら勉強できる速読英単語を使った。はじめはその日に確実に覚えられるよう勉強した結果、非効率的で成績もあまり上がらなかった。勉強法を改善して何度も繰り返すほうが良いと気づき、そこで自分に合った勉強法を確立することができた。4月からは速読英単語の必修編に入り、単語数の多さに苦労したが、夏休みまでかかってようやく完成させることができた。10月からは速読英単語の上級編に入り、主に長文の方を音読教材として活用した。
文法	一応ハイパートレーニングという教材を使ったが、志望校の過去問の傾向から優先度は低いと感じたので、学校の授業を活用し、自主的にはやらなかった。ハイパートレーニングにした理由は、文法の詳細とその演習問題がセットなので、細かく確認できるからよかった。
長文	長文の対策を始めたのは6月だった。長文を一文ずつ和訳していく英文解釈の教材をまず使い始めた。かなり時間はかかったが、終わった後にはその前に比べて長文への苦手意識がだいぶ薄れた。9月からは志望校の傾向に合わせて、河合塾のレベル別の記述量が多い問題集に取り組んだ。12月からはセンター対策としてマーク式の問題集に取り組んだ。
反省	英語の勉強を始めるのが遅かったので、優先順位を考えて文法を捨てるを得なかった。マーク式の模試で点数にばらつきがあったのは、文法の勉強が不十分だったからだと思う。英語にはもともと苦手意識があったので単語を覚える作業もきらいだったが、覚える作業が1通り終わると長文が読めるようになったので、以前に比べて英語の勉強が苦痛ではなくなった。
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

英語の月間参考書の推移			
月	単語	文法	長文
2	速単入門編	ハイトレ1	
3			
4	速単必修編	ハイトレ2	
5			
6			英文解釈
7			
8			
9			河合長文 1
10	速単上級編		河合長文 2
11			
12			センター対策
1		ドラゴンイングリッシュ	過去問
2			

4. 各科目の勉強法の推移

4-2 数学	2月の時点で数bの範囲をすべて終えていなかったため、範囲を「数学2bの点数が面白いほどとれる本」で終わるところから始めた。3月からは記述力を上げるために「1対1対応の演習」と「理系数学の良問プラチカ」で記述力を上げ、マーク式に対応できるよう「数学1aの点数が面白いほどとれる本」も進めた。7月に志望校変更をして数3が必要になり、独学を始めた。教科書と数学3の点数が面白いほどとれる本を使い、夏休みで何とか全範囲を終えることができた。9月からは数3の記述力のために1対1対応の演習をやった。12月からは1対1対応の演習より1段階上のレベルの、マセマの頻出レベル理系数学で演習をした。数学では遅くから始めた数3の完全な理解がなかなか出来ず苦労したが、演習を繰り返すうちに頻出問題のコツを掴めてきたので、問題が解けるようになった。
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

数学の月間参考書の推移	
月	
2	数学 2 b の点数が面白いほどとれる本
3	数学 1 a の点数が面白いほどとれる本、数学 2 b の点数が面白いほどとれる本
4	1 対 1 対応の演習 (2 , b)
5	
6	
7	数学 3 の点数が面白いほどとれる本 教科書 (3)
8	
9	1 対 1 対応の演習(1,a,2,b,3)
10	
11	
12	マセマ頻出レベル理系数学
1	
2	過去問

4. 各科目の勉強法の推移

4-3 化学	<p>4月の時点で化学基礎すらまともに終わっていない状況だったので、化学基礎の点数が面白いほどとれる本で勉強を始めた。最初は読んで何とか化学のノリのようなものを掴んだ。5月から化学の点数が面白いほどとれる本を始め、夏休みまでに理論化学を終えた。夏休みは無機と有機に時間を費やしつつ理論の重要問題集に取り組んだが、無機と有機の理解が曖昧だったので別の問題集を利用した。新しい問題集を利用する中で自分に合った勉強法を見つけたが、時期が少し遅かった。12月からはセンターの過去問をやりながら、隙間の時間は無機有機の暗記事項を覚える時間に充てた。化学はほとんど初学だったので、感覚を掴むまで本当に苦労した。時間はかかったが、間違えたところを確認していくことでなんとか問題の解法が身についた。</p>
	次ページに具体的なスケジュールを示す。

化学の月間参考書の推移	
月	
2	化学基礎の点数が面白いほどとれる本
3	化学の点数が面白いほどとれる本、理論
4	
5	
6	
7	化学の点数が面白いほどとれる本、無機有機 重要問題集(理論)
8	
9	橋爪問題集(理論 25題,無機 15題,有機 25題)
10	
11	
12	センター対策 重要問題集
1	
2	過去問

5. 志望校に関する意識の推移	
5-1 軌跡	元々薬剤師になりたくて薬学部志望だったが、薬剤師という職業を調べるうちに自分が本当にやりたいこととは違うということに気づいた。また、私立薬学部は学費が高く、お金に見合ったパフォーマンスを自分が将来、出来る自信がなかったので、志望を変更することにした。将来の夢から考えたわけではないが、自分が好きな数学をより追及したいという気持ちがあったので、数学科に志望を変更した。パラリアトークで現役の数学科の方の話を伺った時に、大学の傍らに自分のやりたいことを見つけているという話を聞き、大学に入ってから数学を将来の夢につなげようと思った。
	以下に具体的なスケジュールを示す。

志望校の推移	
月	
2	北里大学薬学部薬学科
3	↓
4	↓
5	↓
6	千葉大学理学部数学情報数理学科
7	↓
8	↓
9	↓
10	↓
11	↓
12	↓
1	↓
2	↓

6. 家族とのやり取り	
6-1 接し方	あまり家にいる時間がなかったが、受験期前と特に変わらず接した。
6-2 もらったサポート	パラリアに通うお金、参考書代、私立大学に通うにあたってのお金を嫌な顔一つせずに払ってくれた。模試の成績が上がった時に褒めてくれた。最寄り駅まで車で送迎してくれた。昼の弁当や夜遅くの夕飯に対応してくれた。受験校について関心をもってよく調べてくれた。
6-3 もらいたかったサポート	もらいたかったサポートはすべてもらっていた。